

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	2025年 7月 25日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	氏名（法人にあっては、名称及び代表者名）
大阪市北区梅田2丁目5-25ハービスOSAKAオフィスタワー22階	グンゼ株式会社 代表取締役社長 佐口 敏康
	電話番号：06-6348-1313

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2015
適用範囲	グンゼ(株)宮津工場
導入年月日	2001年 7月 6日
認証番号	JQA-EM1658
基本方針	衣料品の設計から製造に関わる事業活動、製品及びサービスの中で当社の強みを結集し、以下の方針に基づきマネジメントシステムの継続的改善及び、お客様の要求マネジメントシステムの継続的改善及び、お客様の要求する品質に適合する製品の提供と環境汚染の予防を図る。 1. 顧客又は 販売市場を満足させる項目に対し、技術性と経済性を考慮して目標設定し、必要に応じて見直す。 2. 環境影響が大きい項目に対し、技術性と経済性を考慮し目標設定し、必要に応じて見直す。 3. 関連する法規制及び、地域との協約、その他組織が同意する要求事項を順守する。 3. 関連する法規制及び、地域との協約、その他組織が同意する要求事項を順守する。 4. 活動方針を全構成員に周知し、取引先へも協力と理解を求めると共に必要に応じて公開する。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	(1) CO2排出量を 3,604(t-CO2)以下にする（21年度BM対92.6%） (2) エネルギー使用量原単位を2023年度実績の1%減 (3) 廃水処理充実で着色度 30倍 以下を維持する
目標を達成するための取組の内容	(1) CO2排出量を 3,604(t-CO2)以下にする（21年度BM対92.6%） (2) エネルギー使用量原単位を2023年度実績の1%減 (3) 廃水処理充実で着色度 30倍 以下を維持する
目標を達成するための取組の進捗状況	省エネルギー ・蛍光灯のLED化推進：染工課LED更新率9.7%から100%へ（全194箇所更新） ・廃水プロア配管更新による省エネ：9月工事完了し、電力削減効果試算 9.636MW/年 ・電力トランス高効率タイプへの更新による省エネ：2024年度は8月2台更新し、電力削減効果試算 16.016MW/年
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	2024年度はCO2排出目標 3,604t に対して、実績は 4,090t（2023年度は排出実績 4,271t）であった。対前年より排出量は削減したが、目標は未達である。また、生産量としては、対2023年度 86.1% であり、エネルギー使用量原単位も目標未達。 原因としては、生産品種構成の変化がある。高付加価値製品への生産シフトが進んでおり、生産量（重量）に対するエネルギー使用率が増加してきている。また、2024年度は高温職場の製造工程の空調設備を2台新設し、稼働開始した影響もある。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について毎月確認を行っている。 これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しについては、年に一度評価及び見直しを実施。 2023年度は、現行の目標及び取組内容により一定の成果が見られたことから、2024年度も同一のシステムにより運用した。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。